

<教育利用> ① 英文添削における生成AIの利用

目的：

英作文課題において、生徒がすぐに教員のフィードバックを手にとれないことが問題となっていた。生徒がセルフチェックができるようにするため生成AIを活用した。

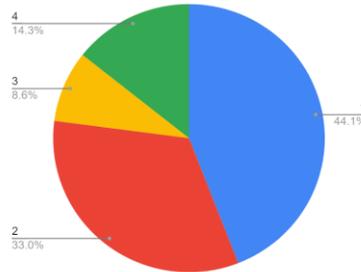
方法：

まずは生成AIを使用する際に気をつける注意事項を例題で理解させ、その後、実際に自分の自由英作文を生成AIを用いて添削させた。その後生成AIを適切に使用できたかをはかるアンケートを実施した。

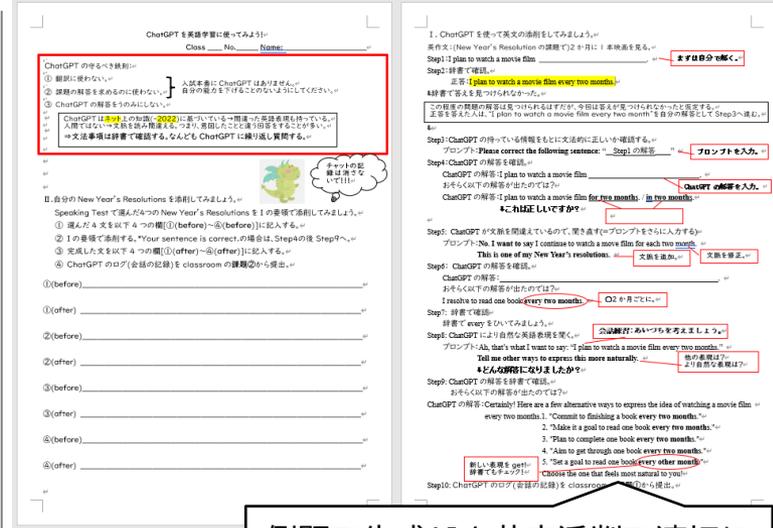
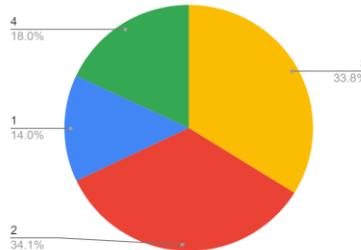
結果：

当初は安易に翻訳機能を使用しないかどうかという懸念があったが、授業後のアンケートにおいて「生成AIも間違えることを理解できた」に対して「1. とてもよく当てはまる」と「2. まあまあ当てはまる」は70%を超えた。英語が苦手な生徒はケアレスミスのチェックを、英語に関心のある生徒は、積極的に新しい表現を学ぼうという姿勢が見られた。また「生成AIに対して自分で新しくプロンプトを考えられたか」という問いに対しては、32%の生徒しか当てはまると解答しなかった。

5. ChatGPTが間違えることがあると理解できた。



4. ChatGPTに対して自分で新しくプロンプトを考えられた。



例題で生成AIを英文添削で適切に使用するための練習問題

今後の展望：

現状はある程度、英語ができる層がターゲットになっているので、英語が苦手な層への対応を考える必要がある。またプロンプトを自分で考え、より良い問い方を生徒たちの間で考えさせることでより個人レベルからグループレベルの学習へと学びのレベルを高めたい。プロンプトの精度についてディスカッションすることは、生成AIとの個別の英会話レッスンの質も向上させる手掛かりになる可能性がある。